

「清心」

文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

祇園小学校一校一徳運動「明るいあいさつ」

「あいさつ通り日本一」（祇園中学校区健全育成会、中部地区自治協議会）を学校・家庭・地域・関係機関共通の子育て目標とし、あいさつの輪を広げたいとの思いで、一校一徳運動を「明るいあいさつ」といたしました。

あいさつは、人と人との結び付きを深め、相互の心を明るくします。また、あいさつの声が響き渡る地域には不審者も近寄りがたいと思います。先にあいさつをすることが苦手な子もいます。どうぞ、大人の方から先にあいさつの声をかけていただければ幸いです。

地域の見守りの目

犬の散歩中でもかまいません、自宅の玄関からでもかまいません、食事の準備中の小窓からでもかまいません、子どもたちの登下校に目を注いでいただき、「いってらっしゃい」「おかえりなさい」等の声をかけていただければ幸いです。

子どもたちは、知っている大人の方々から見守られ、安心して登下校できます。

子ども自身の安全意識の向上

大きな道路だけでなく、小さな道路を横断する際にも、左右を確認し安全に横断する必要性を感じています。右折車がウインカーを点滅してたくさん通る場所もあります。マンションの出入口のそばを車がたくさん通る場所もあります。子ども自身が安全への意識を高め、自らの安全を自らが守ることのできるようにしていきたいと考えています。

また、安全を考慮した通学路をきちんと通るよう呼びかけてまいります。



祇園歴史の旅（その7）「校章制定の由来（前編）」

校長室にある額には次のような記載があります。

校章は五個の佐世保独楽とヨマ（独楽を回すひも）と学校のロゴで構成されている。佐世保独楽は校区的特産物であり、この地域の児童は昔から慣れ親しんでいる。

校名のロゴ全体の印象は子供たちを優しく包み込む感じを表現した。

ヨマは独楽を起動し、継続させるための物であるので子供を育てる見守る親、地域、学校を表している。

五個の独楽は・・・（続きは次号で紹介） ※上の校章をじっくりとご覧ください。